

中部圏・北陸圏を結ぶ 国際航空貨物トラック共同輸送事業 について



平成27年7月6日
中部運輸局

中部圏・北陸圏を結ぶ国際航空貨物トラック共同輸送事業について

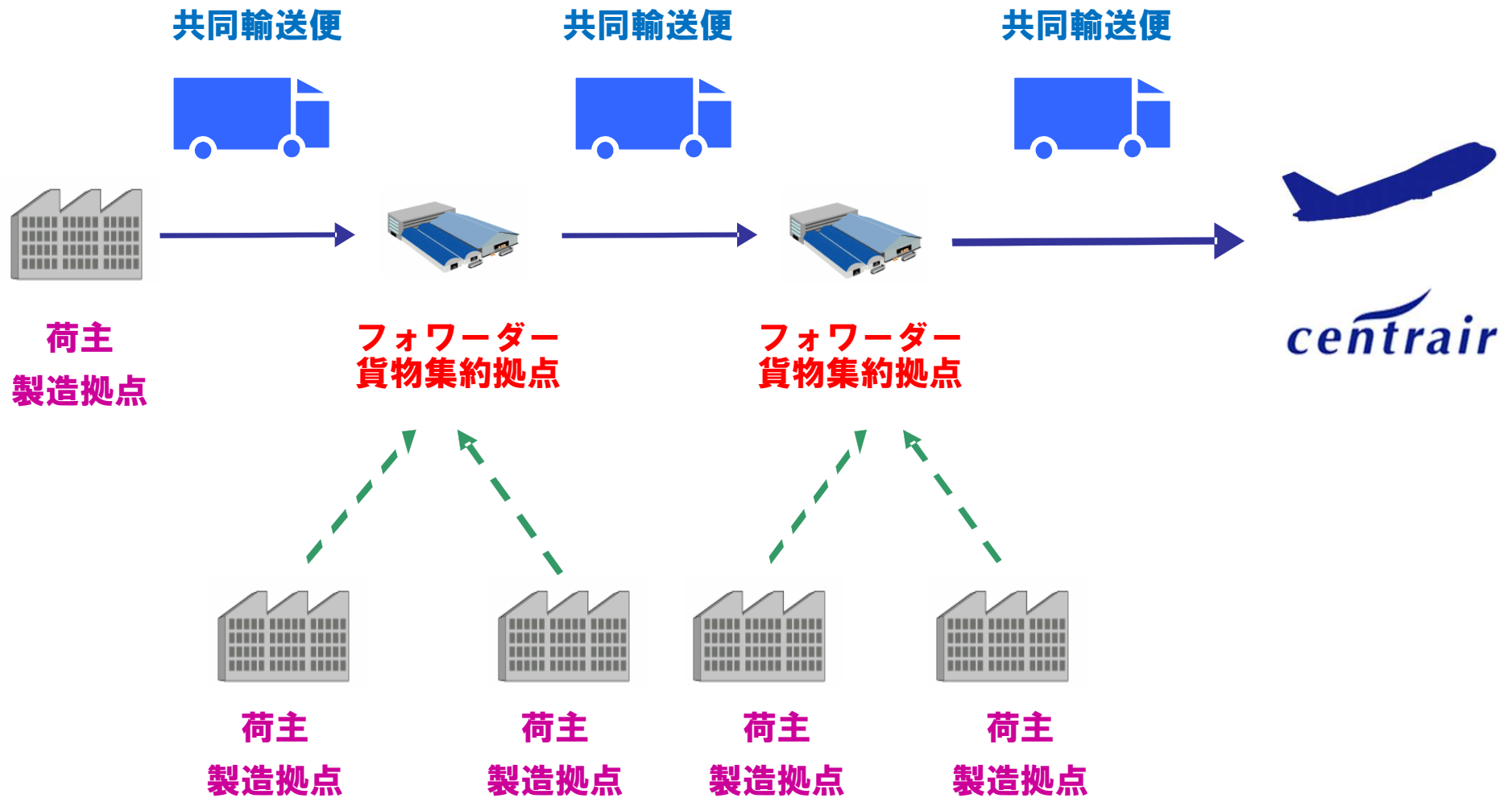
- 複数のパートナー企業の参加のもと、対象地区の複数地点で発生する航空貨物をミルクラン方式で同じトラックに積み合わせ、セントレアへ輸送する取り組み。
- 日々の荷量に応じた配車（サイズ・ルート）を行い、トラック料金は各社が搭載重量に応じ按分負担を行う。
- 中部国際空港利用促進協議会の「フライ・セントレア・カーゴ事業」として官民連携で推進。

【効果】

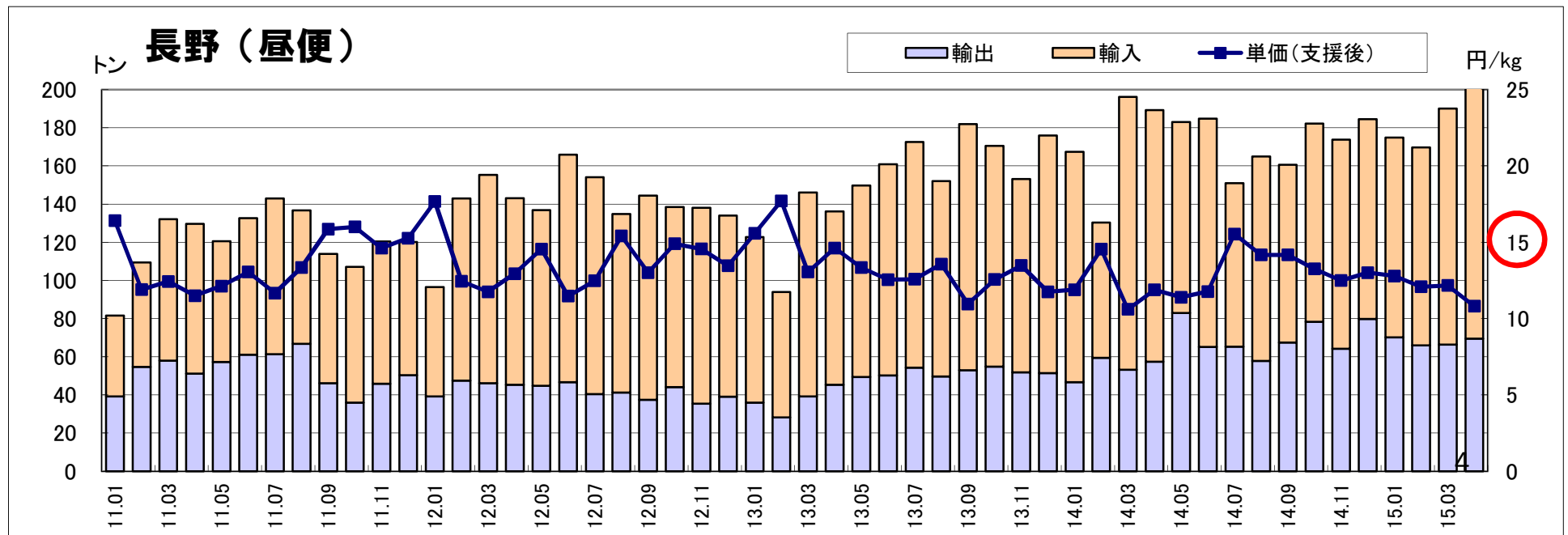
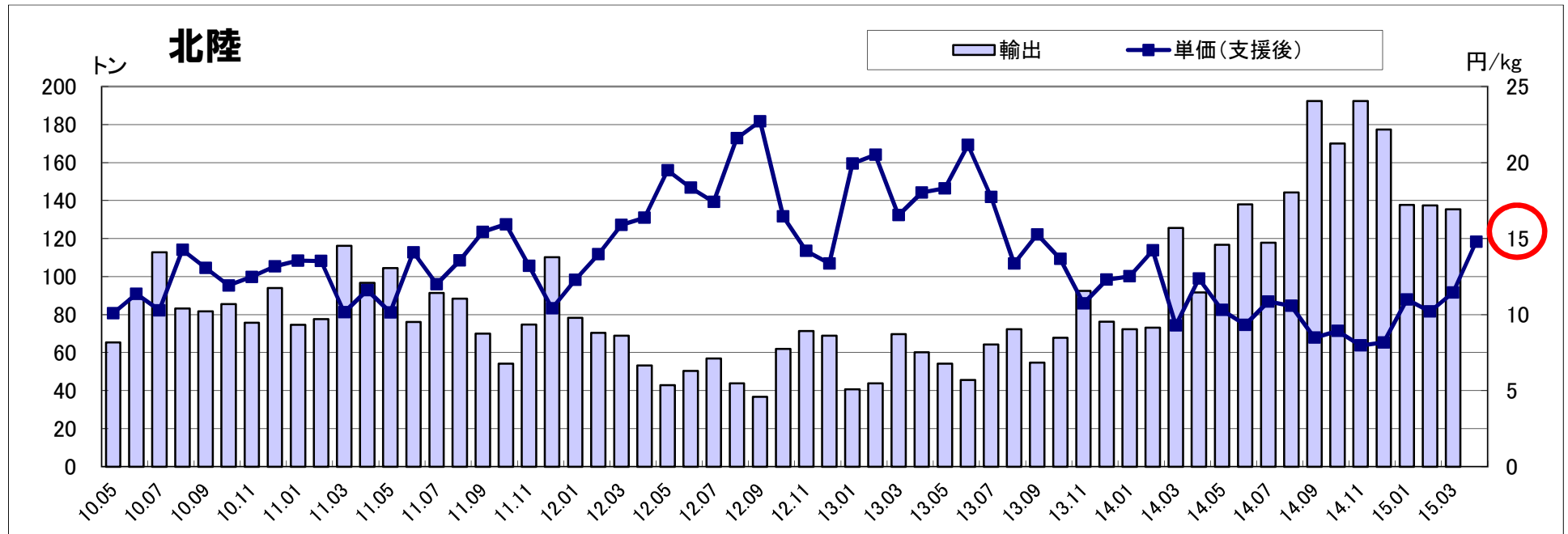
- ①輸送コスト削減：トラック搭載貨物重量の増加に比例して各荷主のキロあたり輸送単価が低下
- ②環境負荷低減：個別にセントレアまでトラック輸送していた国際航空貨物を、ミルクラン方式で集荷し共同輸送することにより、環境負荷の少ない物流体系を構築（→従来よりCO2を約50%削減）

エリア・ルート	 <p>長野県</p> <p>共同輸送路線</p> <p>セントレア</p> <p>松本</p> <p>諏訪</p> <p>岡谷</p> <p>セントレア</p>	 <p>福井県・石川県・富山県</p> <p>共同輸送路線</p> <p>セントレア</p> <p>福井</p> <p>小松</p> <p>富山</p> <p>セントレア</p>
期間	2008年10月～	
頻度	平日毎日運行	
便種	昼便 ※夜便は完全自立化（'14/5～）	夜便

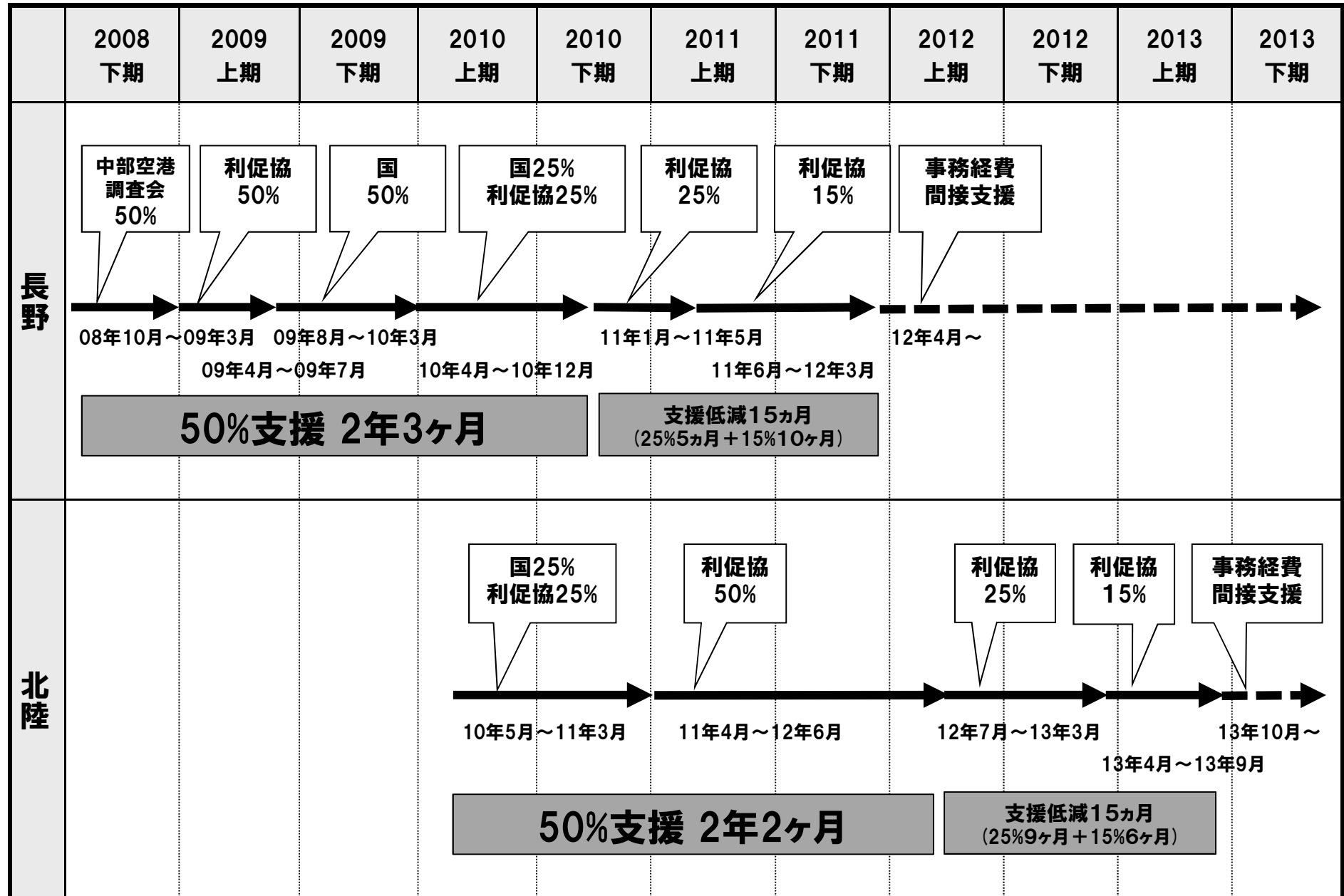
ミルクラン方式のイメージ



輸送の実績(月間重量・運賃単価)



官民連携による経済的な支援



※ 国の支援・・・物流連携効率化推進事業費補助金（2009年～2010年）

大型CNGトラックを導入

- 平成27年3月より、大型CNGトラックを国際航空貨物トラック共同輸送事業の北陸ルートに導入し、更に環境負荷を低減。
- 導入に当たっては、「CNGトラックを活用した低炭素中距離貨物輸送のモデル構築事業」（国土交通省と環境省の連携事業）の補助金を活用。
- CNGは、粒子状物質(PM)を殆ど排出せず、窒素酸化物(NOx)の排出も少ないクリーンな燃料。



導入された大型CNGトラック